

研究課題名 Research topic name	Determinants of presenteeism and stress: multi-center study among physicians and nurses in Mongolia. 和訳：プレゼンティーイズムとストレスの決定要因：モンゴルの医師と看護師を対象とした多施設共同研究
研究期間 Research period	2025 年 10 月 29 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象 Research Subjects	モンゴル内の3医療機関 (the Khan-Uul District General Hospital, Darkhan-Uul Province General Hospital, and the National Cancer Center of Mongolia.)に勤務されている医師および看護師の方々 なお、本研究で用いるデータは、個人が特定できないように加工されており、氏名などの情報は一切含まれておりません。
研究の目的・方法 Research objectives and methods	【研究の目的】本研究は、モンゴルの医師および看護師の方々のプレゼンティーイズム（出勤していても心身の不調により業務効率が低下している状態）とストレスに影響を与える要因や、それらが健康や生産性にどう関連しているかを明らかにすることを目的とします。また、職場のウェルビーイング（心身の健康）を把握・向上させるための実用的なストレス評価方法を、現地で活用できるかについても検討します。 【研究の方法】モンゴル国立医科大学ダルハン・ウール医学校が収集した匿名調査データの提供を受け、広島大学と産業医科大学で分析を行います。データはパスワードで保護された環境で厳重に管理し、研究成果は論文や学会等で公表します。 なお、結果をまとめた報告書は、研究成果としてデータ提供元の同校にも共有します。
研究に用いる試料・情報の種類 Types of samples and information used in research	情報：年齢、性別、勤続年数、職種、世帯月収、心身の状態、職務上のストレス、ワークライフバランス等に関する調査項目のデータ。（これらの情報には、氏名など個人を特定できるものは一切含まれておりません。） 試料：なし
利用または提供を開始する予定日 Planned start date for use or provision	2025 年 10 月 29 日（本学における実施許可日）
個人情報の保護 Protection of	研究に使用するデータは氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる情報は含まれていません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表

Personal Information	する際も、個人を特定できる形では公表しません。
外部への試料・情報の提供 Provision of samples and information to external parties	特になし
研究組織 research organization	本学の研究責任者： 広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 教授 久保達彦 研究機関の長：広島大学理事 田中純子 研究代表機関： Bayasgalanmunkh Baatar, Dean, Mongolian National University of Medical Sciences, Darkhan-Uul Medical School 共同研究機関： 産業医科大学 産業生態科学研究所 教授 藤野 善久
その他 others	特になし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先 Contact information/inquiries regarding declining research use	個人が特定できる情報は含まれておりませんので研究への利用を個別に拒否することはできかねます。ご了承ください。 本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 （研究の問い合わせ先） 広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 担当者：久保達彦 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5167